

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.2
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル	-	3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音	-	3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能	-	3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能	-	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音	-	-	-	-	-	
2 温熱環境		3.0	0.35	3.1	1.00	3.1
2.1 室温制御	-	3.0	0.50	3.3	0.50	
1 室温	-	3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能	等級4相当	3.0	0.38	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 昼光利用	-	3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率	-	3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口	-	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備	-	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策	-	3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御	庇(上階バルコニー)+カーテン	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度	-	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御	-	3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策	-	4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	ほぼ全面にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気	-	3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	-	-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理	-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1 機能性		3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応	-	-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性	-	3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観	-	-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース	-	-	-	-	-	
3 内装計画	-	3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理	-	3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	-	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	-	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振	-	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上にB以上を使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性	-	3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備	-	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-	
3 電気設備	-	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性		3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	-	-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.5
	1	生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化			住棟のBEI:0.8	4.0	0.50	-	4.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
集合住宅の評価			4.0	1.00	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			LGS下地+ボード	4.0	0.20	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率90%	3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	-	○	○	-	-	○	○	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0		○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0		-	-	○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	○	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	3.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		-	2.0	1.0	3.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		1.0	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	1.0	-	-	3.0	-	-	-	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	1.0	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-							
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -

U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -

住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 0.7 η AC 2.3 η AH 0.9

昼光率 -

自然換気有効開口面積率 -

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -

コンセント容量 - VA/m²

天井高 - m

リフレッシュスペース - レストスペース -

想定耐用年数 - 年

想定必要間隔 - 年

想定必要間隔 - 年

想定必要間隔 - 年

階高 - m

壁長さ比率 -

床荷重 - N/m²

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

外構緑化指数 56% 建物緑化指数 0%

空地率 61% 水平投影面積率 14% 地表面对策面積率 41% 舗装面積率 41%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

BPI/BPI_m - 断熱等性能等級 等級4 相当自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m² 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 -

通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 -

太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

BEI/BEI_m 再エネ有 - 無 - オフサイト再エネ有 - -

一次エネ削減率 再エネ有 20% 無 20% -

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

雨水利用率 -

特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

使用比率 -

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 341% 隣棟間隔指標R_w 0.06

地表面对策面積率 63.0% 屋根面对策面積率 0.0% 外壁面对策面積率 0.0%

見付面積S_b 2,100m² 卓越風向と直交する最大敷地幅W_s 41.64 m 基準高さH_b 14.78 m緑地 316m² 水面 m² 保水性対策面 m² 高反射対策面 m² 再帰性反射対策面 m²